

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

399号

2024年6月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

「チェ上等兵特別検察法」を尹大統領が拒否権行使 国益のための権限を私益のために使うのか？国民の怒りは頂点に！

尹錫悦大統領は5月2日に国会で可決された「チェ上等兵特別検察法（殉職海兵隊員の捜査妨害及び事件隠蔽などの真相究明のための特別検事の任命などに関する法律案）」に21日、再議要求権（拒否権）を行使した。昨年7月に慶尚北道での水害救助活動中に、海兵隊員が殉職した事件の調査報告書の書き換えを命じられた団長が「外部圧力があつた」と公表、海兵隊師団長、国防部長官、大統領室が関わっているとの疑惑が表面化し、殉職した隊員の親族や同僚、予備役軍人らが真相究明を求めて「特別検察法」の成立を訴えた。さらに国会立法調査処が提出した報告書「大統領法律案再議要求権の憲法的限界（金ソンファン法制司法チーム長）」も

「国会決議された法律案が、大統領の私的な利害と衝突するという理由で再議要求権を行使することは憲法上容認されがたい」との見解を示した。

●報告書の書き換え圧力の原因はVIPの「激怒」？

5月22日、新たに高位公職者捜査処長に任命された呉東運（オ・ドンウン）処長は、記者団に海兵隊員の殉職事故捜査外圧疑惑の捜査が「最も重要な業務」との認識を示した。呉処長の就任から1週間後「調査報告書から將軍らを除け」との外圧があつた事実が明らかになった。尹大統領が海兵隊將軍らの責任が明記されていることに「激怒」した内容の音声記録の存在が明らかになり、隠ぺいのために国防長官、海兵隊師団長、大統領室安保室長らと頻繁に通話していた事実が明らかになっている。しかし高位公職者捜査処には起訴権がな

い。捜査の結果、起訴が必要と認められた場合、ソウル中央検察庁に送検することになるが、5月13日にソウル中央検事長の人事異動があり、現職のソウル中央検事長イ・チャンス氏は、尹大統領の側近中の側近と言われている人物だ。前任者のソン・ギョンホ氏は金建姫大統領夫人の数々の疑惑の捜査を担当しており、大統領室との不協和音が噂されていた人物だった。



▲汎国民大会で「チェ上等兵特検通過」を訴える参加者

大統領夫人の疑惑に関して聖域のない捜査を指示していた検事総長を蚊帳の外に追い出し、法務部長官と大統領室が共謀して行ったものだった。検事総長が今回の人事異動について記者たちの質問に言葉を詰まらせる場面もあり、尹政権のレームダックぶりが表面化している。

このような事態を受け5月25日、すべての野党と84の市民団体から構成される「拒否権を拒否する全国非常行動」主催で「チェ上等兵特検法拒否糾弾及び通過促求汎国民大会」をソウルで開催した。「大統領の権限は国民のためだけに使え！」「拒否権の私的乱用は重大な憲法違反！」をスローガンに、各党代表と市民団体代表、海兵隊予備役軍人が発言を行い、保守・進歩を問わず尹政権の拒否権私的乱用を激しく非難した。尹大統領の謝罪がなければ事態はさらに悪化し、国民の声は「弾劾」へと進むしかないように思われる。「残り任期3年は余りにも長い」というスローガンが現実味を増している。「国民は常に正しい。国民に勝てる権力はない」。韓国民衆の怒涛のような声が再び湧き上がっている。（鐵）

汎国民戦線を構築して

尹錫悦政権を退陣に追い込もう！

光州民衆抗争44周年在日韓国人全国集会

光州民衆抗争から44周年を迎え、韓統連主催で「光州精神を継承し、民族自主を争取しよう！光州民衆抗争44周年記念在日韓国人全国集会」が5月12日（日）、じばさん三重（三重県四日市市）で開催された。

集会では、宋世一（ソ・セイル）韓統連委員長が主催者挨拶を通じ「韓国現代史にさん然と輝く光州民衆抗争は、反独裁民主化闘争を反外勢民族自主化闘争へと昇華させていった。現在の韓国情勢を見る時、民族自主が重要な課題であると感じる」と述べながら、「4月10日の総選挙で無能・無責任、独断・専横、反民主・反民生・反平和、外交においては対米追従、対日屈従、対北対決の尹錫悦政権に対して、韓国の国民は激烈な審判を下した。今回の選挙はまさに国民の勝利だが、これは尹政権打倒闘争のはじまりにすぎない。尹政権を退陣させてこそ、民族自主は前進していく。院内外を貫く強力な汎国民戦線を構築し、尹政権を早期に退陣させよう」と語った。

次に、金昌五（キム・チャンオ）副委員長が情勢講演を行った。金副委員長は「米国の覇権は失墜し、世界は多極化の時代を迎えている。にもかかわらず尹政権は米国に追従し、韓米日軍事同盟構築の先鋒隊となった。朝鮮半島はかつてないほどの核戦争危機に陥っている」として尹政権を批判した。



▲情勢講演を行う金昌五副委員長

続いて、4月の総選挙については「民主・進歩勢力の団結と祖国革新党による『尹政権審判』世論の拡散が勝因であり、今後、梨泰院特別法やチェ上等兵特検法など、国民が切望している法案を成立させ、尹政権を徹底的に包囲し、弾劾・退陣へと進まなければならない」と強調し、今後の課

題として「親米独裁勢力を弱体化させ、親米民主勢力の限界を明らかにし、自主統一勢力の躍進を勝ち取り、自主的民主政府を樹立し、ゆるやかな連邦制統一時代に進むことだ」とし、「今後、韓統連、韓青の役割はより重要となっていくだろう」と語った。

情勢講演後は韓青・韓統連各代表からの意見表明に続き決議文が採択され、趙基峰（チョ・ギボク）副委員長が閉会挨拶を行った。

そして最後に参加者全員で尹政権退陣を求めるプラカードアピールを行った。

歌やエイサー、パネル展示などを通じ、 軍拡反対、平和実現を訴える！

ピースフェスタ2024

韓統連大阪本部も実行委員会に参加している「みんなでつくろう、明日の平和！ピースフェスタ in おおさか2024」が5月12日（日）、いくのパーク（大阪市生野区）で開かれた。

ピースフェスタは、沖縄・南西諸島をはじめ軍拡を進めている日本政府にNOを突きつけ、平和を実現しようという趣旨で昨年から開催され、今年第2回目の開催となった。



▲月桃の歌舞団によるエイサー

ピースフェスタでは裏猫キャバレー、川口真由美さんなどによる歌、月桃の花歌舞団によるエイサーなど多彩な文化発表を通じて反戦平和が訴えられた。

会場ではビールに焼鳥、かき氷、チヂミなどの出店が並び会場の雰囲気盛り上げるとともに、別室では米軍・自衛隊基地問題のパネル展示をはじめ各種の展示コーナーが設けられ、楽しい雰囲気の中、戦争反対、平和の大切さが訴えられた。

【資料】 光州民衆抗争44周年記念 在日韓国人全国集会決議文

韓国民衆運動史にさん然と輝く光州民衆抗争から44年を迎えた。言うまでもなく光州民衆抗争は反独裁民主化闘争を反外勢民族自主化闘争へと発展させる契機となった光州市民の偉大な闘いであり、自主・民主・統一の理念を定立する上で決定的な役割を果たした一大民衆抗拒である。わたしたちは崇高な光州精神を継承することをいま一度誓いながら、民族自主をわたしたちの手で必ず爭取することをあらためて決意するものである。

政権出帆以来、無能・無責任、独断・専横、反民生・反民主・反平和、対米追従・対日屈従・対北対決で一貫する尹錫悦検察独裁は、4月10日に実施された総選挙において主権者である国民からついに厳しい審判を受けた。

しかし尹大統領は選挙後も「国政基調は正しい」と強弁しながら、反省することも国民に謝罪することもない。「共に民主党」の李在明代表との初会談もことごとく李代表の提案を拒否し、結局「協議・協力のポーズ」を示すためだけの場に転落させた。支持率は20%台後半から30%台前半と低迷し保守支持層からも離反が続いている。

「(残り任期)3年は長すぎる」というスローガンはますます現実味を増している。民意を受け入れず国民と対立する尹政権は早期に退陣させなければならない。院内では各種疑惑に関する特別検察法などを成立させることで尹政権を徹底して追い詰め、院外の退陣闘争と固く結びつきながら、院内外を貫く広範な反尹戦線による汎国民的退陣闘争を強力に推進していくことが求められる。すでに院内では野党当選者149人が労働法改正の推進を予告し、院外では民主労総がメーデー大会で退陣を全面に掲げ、市民社会団体が「拒否権統治」拒否大会を開催した。

韓米軍事同盟と韓米日3カ国軍事協力の強化が飛躍的に進み、朝鮮半島における戦争の危機が増

大している。韓米合同軍事演習は昨年だけでも250回以上も行われ、今年8月の合同軍事演習「ウルチ・フリーダム・シールド」では核演習も想定される。また昨年の韓米日キャンプデービッド合意以後は、韓米日合同軍事演習も海上と空中で計画的に実施され、米日の指揮統制一体化への動きとあわせて実質的な韓米日軍事同盟の構築が急速に進んでいる。

朝鮮は合同軍事演習に代表される米国の敵視政策、戦争政策に猛反発すると共に、無条件で米国に追従し「政権崩壊」「吸収統一」を振りかざす

韓国を「戦争中の交戦国」と規定し、韓米の戦争策動に対し「強対強」「全面対決」の姿勢で臨んでいる。

自主権を放棄して国と民族の利益を売り渡し祖国を戦争の危機に陥れる尹政権の対米追従・対日屈従・対北対決政策をわたしたちは怒りをもって厳しく糾弾すると共に、反平和・反統一



▲プラカードアピールを行う集会参加者

政権には早期退陣しかないことを再度確認しなければならない。

私たちはこうした認識のもと、尹錫悦政権を一日も早く退陣させ、自主・民主・統一への大道を再び切り開く決意をともにしながら、次のように決議する。

1. 国民の審判を受けた反民生・反民主・反平和の尹錫悦政権は退陣しろ！
1. 戦争の危機を煽る韓米・韓米日合同軍事演習を即時中止しろ！
1. 光州精神を継承し民族自主を爭取しよう！

2024年5月12日

光州精神を継承し民族自主を爭取しよう！
光州民衆抗争44周年記念在日韓国人全国集会
参加者一同



【翻訳資料】 子どもたちの遺影に捧げた「梨泰院惨事特別法」 オモニ(母)は静かに涙を流した

「10月29日の梨泰院惨事犠牲者の権利を保障し、真相究明と再発防止のための特別法案が可決されたことをここに宣言します」。

法案可決を告げる声が国会の議場に響き渡る中、傍聴席に座っていた故李ナムフン氏のオモニである朴ヨンス氏は両手で顔を埋め、静かに涙を流した。静かに涙をぬぐう人もいれば、無言で握手を交わす人もいた。子どもと別れてから1年6ヶ月が経過し、オモニやアボジ(父)たちの顔には複雑な感情があふれていた。



▲法案可決後、目を覆い涙を流す遺族

5月2日、梨泰院災害特別法が国会本会議で可決された。悲劇から1年6ヶ月、尹錫悦大統領が拒否権を行使してから3ヶ月後のことだ。

これは3月29日の尹大統領と李在明共に民主党の首脳会談で特別法の問題が持ち上がった後、与野党が一步ずつ譲歩し、法案を本格的に成立させることで電撃合意したことによるものだ。

遺族たちは本会議終了後、野党議員と共に国会前で記者会見を開き、1年6ヶ月の闘いの末に特別法通過を勝ち取った所感を明らかにした。

李ジョンミン10・29梨泰院惨事遺族協議会運営委員長は「今日は本当に私たちの遺族たちにとって最も記憶に残る日だ。1年6ヶ月の間、遺族たちは大雨の中で三歩一拝(3歩進むたびに地面にひざまずき拝礼する)を行い、酷寒の中で五体投地(両手・両膝・額を地面に投げ伏して、仏や高僧などを礼拝する)を行うなど、ひたすら真相究明を訴えてきた」と闘いを振り返り、「私たちの心に共感してくれた野党議員たちと多くの市民の力がなければ、このような結果はなかったと

思う。ありがとうございます」と話した。



▲記者会見で所感を語る李ジョンミン運営委員長

チャン・ヘヨン正義党院内代表職務代行は「梨泰院惨事特別法は、大韓民国市民の安全を守るための責務を果たす最小限の法律だ。この最小限の法を制定するのに1年6ヶ月という時間が必要だったことに、第21代国会議員の一人として恥ずかしさを感じる」と述べ、「国政調査を通じて明らかになった真実は、梨泰院惨事が阻止できる惨事だったということ。特調委を通じて、なぜこの惨事を阻止できなかったのか、その責任は誰にあるのか問わなければならない」と話した。

遺族たちは、与野党合意で法案を通過させたことについて、与党国民の力の議員たちにも感謝を伝えた。ただし要請も忘れなかった。金ドクジン10・29梨泰院惨事市民対策会議対外協力チーム長は「国民の力の一つだけ要請したい。これまで他の特別調査委員会に推薦した人々のように、調査を妨害して無力化させようとする人々ではなく、誠意を持って生命と安全社会を作るという意思を持った専門家を推薦してほしい」と語った。

記者会見を終えた遺族は、ソウル広場にある梨泰院惨事犠牲者合同焼香所に向かった。遺族は、惨事当日最初に警察に惨事の通報が入った午後6時34分に合わせて、息子・娘の遺影の前に梨泰院惨事特別法を載せた。惨事から551日が経過したこの日「アボジとオモニたちは、もう頭を上げることができるようだ」と子どもたちに伝えながら泣いた(ハンギョレ新聞インターネット版5月3日付より)。

【コラム】

古代の肉料理と現代のタッカルビ

チーズタッカルビは韓国料理のタッカルビ（鶏バラ炒め）にチーズをトッピングしたものだ。日本の松屋で「チーズタッカルビ定食」が販売されたのが2018年。チーズタッカルビは7～8年前から日本で流行しはじめ、すっかり定番のメニューとなった。

一方、韓国におけるチーズタッカルビは、あくまでタッカルビのアレンジの一つだ。どちらかといえば「チーズ熱風」と呼ばれる2010年代のチーズ消費急増の中で注目されたメニューといえる。タッカルビの本場と言われる春川市の飲食店で、軒並みメニューに加えられるほど人気だが、まず半世紀前からの春川タッカルビの普及が下地にあるといえる。

話は少し変わるが、韓流ドラマで有名な江原道春川市はタッカルビの元祖としても有名だ。1960年代、春川市と隣の洪川郡からはじまった鶏料理タッカルビ。安価に供給される鶏肉を背景に、70年代には「庶民のカルビ」「大学生のカルビ」と言われ、若者を中心に流行した。

その後、タッカルビの多様化が進み、様々な形式が作られるようになった。近年の流行ではチーズタッカルビ、他にも麺類を入れたり、鍋に近いものであったり、鉄板式や炭火式などの流派がある。おおむねコチュジャンを中心とした薬味を絡め、キャベツや玉ねぎと共に炒めて料理する。

さて、ここまで今や春川料理の代表となったタッカルビについて述べたが、実は他にも春川に由来する肉料理がある。古代、三国時代よりも以前において流行したとされる肉料理「貂炙（ばくしや、メッコ、メック）」だ。かつて春川に居住していた民族とされる貂（ばく）の料理だ。

貂炙は当時の中国の史料にこう記載されている。「泰始（265～274）の後、中国では…（中略）…貂炙（北方の貂の炙り料理）もこのように尊重された（『晋書』卷二十七、五行志上、服妖）」。

3世紀末ごろの中国では、北方や西方の異民族の文化が流入し尊重されたこと、そのうちの一つが貂炙だという。貴人たちが客をもてなす際に供

したそうだ。『釈名』釈飲食では「貂炙は全体を炙り、各自が刀をもちいて割く。胡貂の作る料理が発祥だ」とある。当時の中国における貂炙とは、動物を丸焼きにしたものを各人がナイフで削って食べる料理だったようだ。

その貂の部族は今の春川市に居たと信じられている。『三国史記』では「朔州」。賈耽の『古今郡国志』にいわく『高句麗の東南、濊の西、古の貂の地』…（中略）…今の春川である」と述べている。中国の正史でも、貂の故地は高句麗の南、朝鮮半島中北部だと記される。当時の春川の貂の人々には、肉料理の文化があったと考えられる。

しかしながら、この貂炙は現代まで受け継がれてきた伝統料理とはいえない。以前の燠炉会のコラムでも述べたが、高麗時代、肉食文化は一旦衰退した。

高麗の歴代の王は仏教に基づき、狩猟期以外の猟を禁じたり、肉食を戒める命令を下した。当

時、高麗を訪れた中国の使臣はこう記している。

「高麗の政は仁に厚く、仏教を好み殺生を戒めるため、国王や大臣でなければ羊や豚を食べられない。また屠殺を善しとせず、…（中略）…料理を作っても、酷い臭いが絶えない。その屠殺の拙さはかくのごとし（『高麗図経』風俗二、屠宰）」。

狩猟や殺生に禁令が出されたということは、隠れて狩猟を行い肉食する者も居ただろうが、公の道徳では忌避されていたということだ。そのため中国人がその屠殺の手際の悪さを書き記すに至るほど、高麗における肉食文化は衰退していた。

その後、高麗後期のモンゴル文化の流入を経て狩猟や牧畜、肉食の文化が復活するようになる。現在、貂炙（メッコ）は豚肉をスライスして味噌ベースのタレで焼く料理として再現されているが、おそらくかつての貂炙とは異なるものだろう。

しかしながら、タッカルビしかり、プルコギ（焼肉）しかり、我が国の肉料理が外国でも流行する例としては、貂炙はそのルーツと言えるかもしれない。転じて思えば、我が国には北方の民族文化がその底流に存在するのではないだろうか。

（好）



▲チーズタッカルビ

【書籍紹介】

涙にも国籍はあるのでしょうか

津波で亡くなった外国人をたどって

著者:三浦英之

新湖社・1750円+税

今年、東日本大震災から13年を迎えました。著者は2022年、知人のモンゴル人青年から「あの震災で外国人がどれだけ犠牲になったか、日本政府は未だに正確に把握していない」という話を聞き、「そんなことはないだろう?」と疑問に思い、厚生労働省と警察庁に問合せました。すると厚生労働省が公表している外国人犠牲者数が41名。警察庁は33名と差があることが分かり、復興庁に問合せても曖昧な回答しか得られなかった著者は「津波で亡くなった外国人を一人でも多く見つけ出したい」と取材を始めます。

著書では、日本と米国の懸け橋になりたいと独学で日本語を学び、宮城県の学校で外国語指導助手をしていた米国人女性、出稼ぎに来ていたフィリピン女性、朝鮮戦争で離散家族となり日本に来た1世のハルモニ(お婆さん)、震災直後「教会に助けを求めて信者たちが来るから」と危険を顧みず教会に戻って行ったカナダ人神父など、犠牲になった人々の生前の生活と知人・友

人たちの犠牲者に対する想いが伝えられています。

著書によれば、東北地方の沿岸部では古くから「津波がきたらてんでんこ(ばらばらになって逃げろ)」という言い伝えがあります。「ばらばらに逃げろ」とは、津波が来たとき、家族一丸で逃げれば家族が全滅する可能性がある。ばらばらに逃げれば誰かは犠牲になるが、誰かは助かる。そうすれば「血筋」は残るという意味です

著書のタイトルは、前半で紹介したフィリピン女性の知人が語った言葉です。女性にはマニラに幼い娘がおり、友人たちの努力で遺灰は娘に届けることができましたが、日本で同居していた男性の戸籍に入っていなかったという理由で、日本政府や支援団体からの義援金を受け取ることができず、娘に送金できなかったことを嘆いた言葉です。

今、日本は外国人労働者なしには社会は成り立ちません。一人一人に人生があり、日本で生活しています。ぜひ読んでください。(ソソ)



◆◆行事案内◆◆

韓国で話題の書「数字の社会」著者

イム・イジンさん招請講演会

日 時: 6月9日(日) 午後2時: 受付/午後2時30分 開会

場 所: PLP会館中会議室(地下鉄扇町駅下車4番出口から徒歩3分)

大阪市北区天神橋3丁目9-27

参加費: 1000円(青年学生500円)

主 催: 招請委員会 TEL: 06-6711-6377

編集後記

私もチーズタッカルビ食べたことがあります。美味しいですね。これからの季節はやはり冷麺でしょうか?私の自宅近くの冷麺専門店はとても繁盛しています。夏バテには参鶏湯もいいですね。韓国料理は美味しいものがたくさんあります。皆さんのおススメは何ですか? (ソソ)